

**評価細目の第三者評価結果**  
(障害者・児福祉サービス版)

**A-1 利用者の尊重と権利擁護****A-1-(1) 自己決定の尊重**

|  | 第三者評価結果 |
|--|---------|
| <b>A①</b> A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。  | (a)・b・c |
| <p>良い点／工夫されている点：<br/>           日常的に児童と会話するように努め、児童の思いや意向を把握しようとしている。意思表示が苦手な児童に関しては、普段の生活の中で、その児童の思いを察するようにしたり、気づきを大切に、選択肢を提示し、決めてもらったり、児童自身で選択してもらえようように反応を待つ姿勢で支援している。定期的に子供部会を開き、話し合いの場を設けて、主体的に児童たちの生活が送れるよう配慮している。</p> |         |
| 改善できる点／改善方法：   |         |

**A-1-(2) 権利擁護**

|  | 第三者評価結果 |
|--|---------|
| <b>A②</b> A-1-(2)-① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。  | (a)・c   |
| <p>良い点／工夫されている点：<br/>           年1回、法人全体で権利擁護についての研修を実施している。また、定期的に権利擁護の担当者を中心に各棟会議で研修や個別ケースについて話し合いをしている。虐待防止委員会も機能しており、職員のセルフチェックを実施したり、権利擁護に関する振り返りを行っている。また、自分たちの支援について気になる事についてはグループワークで等で検討し、職員間で周知している。</p> |         |
| 改善できる点／改善方法：   |         |

**A-2 生活支援****A-2-(1) 支援の基本**

|   | 第三者評価結果 |
|---|---------|
| <b>A③</b> A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。  | (a)・b・c |
| <p>良い点／工夫されている点：<br/>           本人の意思を尊重しながら、主体的な自立生活を送れるよう支援している。日常生活において自分でできる事(衣類の分別や洗濯物の片付け等)については、自主的に行ってもらえる環境を作り、職員はその児童にあったサポートをするように心がけている。また、視覚的に理解しやすい絵カードや写真等を用意し、例えば、入浴時の身体の洗い方を伝えたり、一緒に職員も入浴して見守ったりする等してその児童に合ったサポートをするように心がけている。</p> |         |
| 改善できる点／改善方法：  |         |

|  |       |
|--|-------|
| A④ A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。  | a・b・c |
| <p>良い点/工夫されている点：<br/>         コミュニケーションが困難な児童とは、身振りや手振り等のノンバーバルコミュニケーションを活用し、意思を確認する等して、支援にあたっている。一人ひとりの児童のコミュニケーション能力に応じて、言語リハビリテーションを受けてもらったり、将来的に一般就労や事業所を利用する上においても、アイパットやメモ用紙を使って速やかに会話ができるよう取り組んでいる。また、発語のできない児童には、コミュニケーション用のカード等を利用する等して意思疎通している。何より普段から、児童が話し終えるまで待つ姿勢で支援している。</p>  |       |
| 改善できる点/改善方法：   |       |
| A⑤ A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。  | a・b・c |
| <p>良い点/工夫されている点：<br/>         児童が希望すれば、個別に時間を作り、話し合う機会を作ったり、数時間、1対1で話を聞く時間も設けている。特に就寝前には、できる限り児童と個別に話し合う時間を作っている。また、外出希望の子には、できる限り希望がかなうようにしている。休日には、子供部会があり子どもたちの意向を確認したり、情報提供する機会となっている。サービス管理責任者とは、日々の支援の中で、相談したい事柄が出た時はすぐに相談する等して、情報共有している。児童と一緒に生活を作っていこうとする姿勢を強く感じ、職員が一方的に決めないで、児童に相談したり、情報を提供したりして、児童の意思を尊重しようとする支援が行われていることが感じ取れた。</p> |       |
| 改善できる点/改善方法：   |       |
| A⑥ A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。  | a・b・c |
| <p>良い点/工夫されている点：<br/>         日中は学校生活を中心に、園での生活について個別支援計画に基づき、日中活動を行っている。日々の遊びや生活の中から、正しい生活習慣や生活リズムを整え、エンパワメントを高めていくとともに、社会的スキルの向上に向けた支援に取り組んでいる。</p>  |       |
| 改善できる点/改善方法：   |       |
| A⑦ A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。   | a・b・c |
| <p>良い点/工夫されている点：<br/>         児童の個別の障がい特性や状況を理解しようと棟会議で個別のケースを話し合い、児童の状況等の変化に応じて適切な支援ができるように心がけている。困難ケース等においては、職員のみならず関係機関等からも意見や助言をもらい、検討し、具体的な支援につなげている。</p>   |       |
| 改善できる点/改善方法：   |       |

## A-2-(2) 日常的な生活支援

|   |         |
|---|---------|
|   | 第三者評価結果 |
| A⑧ A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。 | a・b・c   |

|   |
|---|
| <p>良い点／工夫されている点：<br/>         児童の心身状況に応じて、食生活の部署が中心となって食事量や形態等に配慮し、おいしく食べられるように工夫している。また、児童にアンケートを実施し、献立に活かしている。さらに、誕生日メニューや行事等、趣向を凝らした献立が用意されている。入浴については個別に入浴できる児童には一人で入浴するよう勧めている。排せつ支援については時間を決め、トイレ誘導を行っている。また、移動・移乗支援については法人内の理学療法士の指導を受け、支援にあたっている。</p> |
| <p>改善できる点／改善方法：</p>   |

### A-2-(3) 生活環境

|  |                |
|--|----------------|
|  | 第三者評価結果        |
| <p><b>A⑨</b> A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。</p>   | <p>(a)・b・c</p> |
| <p>良い点／工夫されている点：<br/>         個室で過ごせるよう対応しているが、低学年の児童で寂しがる場合は集団で対応することもある。ベッドや布団は本人の状態等を考慮して選んでいる。また、約束、ルールを守ること、テレビやDVD、携帯ゲーム等を貸し出している。障がい特性により、危険な行動のある児童には特に安全面に配慮したり、落ちつかない時には自室で過ごすよう声かけしたり、付き添ったりしている。児童から意見を聞いたり、アンケートを実施する等し、落ち着いた生活環境が提供できるようにしている。</p> |                |
| <p>改善できる点／改善方法：</p>  |                |

### A-2-(4) 機能訓練・生活訓練

|   |                |
|---|----------------|
|   | 第三者評価結果        |
| <p><b>A⑩</b> A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。</p>  | <p>(a)・b・c</p> |
| <p>良い点／工夫されている点：<br/>         法人内の理学療法士から、利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練についての指導を受け、生活リハビリを実施し、利用児が主体的にリハビリに取り組めるよう支援している。</p> |                |
| <p>改善できる点／改善方法：</p>   |                |

### A-2-(5) 健康管理・医療的な支援

|  |                |
|--|----------------|
|  | 第三者評価結果        |
| <p><b>A⑪</b> A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。</p>  | <p>(a)・b・c</p> |
| <p>良い点／工夫されている点：<br/>         児童の健康状態と体調変化があった場合には、棟会議で職員に周知できるよう対応している。定期的に健康チェック(身体測定)の日を設け、児童の成長を確認し、衛生チェックも行っている。看護師、職員が情報を共有し、その時々に応じた対応が取れるように努めている。体調変化時等には、看護師や職員が同行する等している。また、嘱託医や地域医療の医師との連携も取れており、適切かつ迅速な対応ができています。職員会等で、看護師より、感染症対策や処置の方法等、児童の体調管理に関するアドバイスを受けている。</p> |                |
| <p>改善できる点／改善方法：</p>  |                |

|   |       |
|---|-------|
| A⑫ A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。  | a・b・c |
| <p>良い点/工夫されている点：<br/>小児科・精神科の定期的な検診を行っている。その時には医師と児童について健康面における対応について、アドバイスを受けたり、相談する等して、適切に対応できるよう努めている。また、発作の起きやすい児童についての対応策をわかりやすく掲示したり、起きやすい時間帯等についての応援体制も確保している。</p> |       |
| <p>改善できる点/改善方法：</p>   |       |

#### A-2-(6) 社会参加、学習支援

|  |                  |
|--|------------------|
| A⑬ A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。  | 第三者評価結果<br>a・b・c |
| <p>良い点/工夫されている点：<br/>可能な限り外出等の希望には応えている。地域で実習等を始めた児童には職員が付き添い、移動方法や社会のルール等を教えている。</p>  |                  |
| <p>改善できる点/改善方法：<br/>できる限り施設内だけの生活から、社会との関わりの中で生活できるよう、例えば、おやつを用意する場合でも一緒に買いに行き児童自身で選んで購入する等の機会を拡充していくことで、社会参加や学習の機会は増加すると思われる。コロナ禍の状況にあり、外出が制限されることも多いと思われるが、検討されることを期待する。</p> |                  |

#### A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援

|  |                  |
|--|------------------|
| A⑭ A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。  | 第三者評価結果<br>a・b・c |
| <p>良い点/工夫されている点：<br/>本人、家族、学校や施設側と話し合いながら退園後の生活を検討している。社会生活を送る上で必要な事柄や学習を進路担当部署等の職員が中心となり、取り組んでいる。地域の人たちに理解してもらうために、法人として広報課等が中心となり、ホームページや広報紙を活用し、施設の様子を公開している。</p> |                  |
| <p>改善できる点/改善方法：<br/>法人のグループホーム等を利用して体験学習等の計画を立てているが、コロナ禍のため実施に至っていない。また、極力日常的に地域の人たちとのかかわりが持てるような取り組みをさらに推し進めることが大切と考えるので、検討されたい。</p>                                |                  |

#### A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援

|  |                  |
|--|------------------|
| A⑮ A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。  | 第三者評価結果<br>a・b・c |
| <p>良い点/工夫されている点：<br/>日頃から、児童の様子等を中心に電話で報告し、児童の状態を共有している。年2回、家族との懇談会を実施し、家族の意向等を聞き、児童の支援や進路について話し合っている。また、必要であれば、いつでも話し合える体制となっている。</p> |                  |

改善できる点／改善方法：  
 体調不良や通院に関する家族連絡についてのルール化、マニュアルの明確化に向けた取り組みに期待したい。

### A-3 発達支援

#### A-3-(1) 発達支援

|   |  | 第三者評価結果 |
|---|--|---------|
| A⑩  | A-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。 | ①・b・c   |
| <p>良い点／工夫されている点：<br/>         児童一人ひとりのアセスメントを定期的実施し、その児童の発達に応じた支援を検討している。支援に変更が必要と思われる場合には、検討し、迅速に対応できるようにしている。今後とも、障がい特性による行動や発達過程の課題において、各分野の専門家を招き、より専門的なアドバイスや学びの機会拡充に向けた取り組みに期待する。</p> |  |         |
| <p>改善できる点／改善方法：</p>   |  |         |

### A-4 就労支援

#### A-4-(1) 就労支援

|   |   | 第三者評価結果 |
|---|---|---------|
| A⑪  | A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。       | a・b・c   |
| <p>良い点／工夫されている点：<br/>         評価外項目である。</p> |   |         |
| <p>改善できる点／改善方法：</p>                         |   |         |
| A⑫  | A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。 | a・b・c   |
| <p>良い点／工夫されている点：<br/>         評価外項目である。</p> |   |         |
| <p>改善できる点／改善方法：</p>                         |   |         |
| A⑬  | A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。   | a・b・c   |
| <p>良い点／工夫されている点：<br/>         評価外項目である。</p> |   |         |
| <p>改善できる点／改善方法：</p>                         |   |         |

**A-5 県独自項目**

**A-5-(1) 職員の援助技術の向上**

|  | 第三者評価結果 |
|--|---------|
| A⑫ A-5-(1)-① 職員のスキルの段階にあわせて計画的に職員の援助技術の向上に取り組んでいる。   | a・b・c   |
| <p>良い点/工夫されている点：<br/>           法人が、内部研修においては職員の経験、年数、能力に応じた研修内容を実施しており、支援技術の向上に役立っている。また、外部研修にも積極的に参加するように推奨している。子ども相談センター等、外部から講師を招いて学習会を実施したり、研修に参加した職員が講師となり、伝達講習を行っている。今後は、行動障がいの特徴について学ぶ研修を計画している。</p> |         |
| <p>改善できる点/改善方法：</p>  |         |

**A-5-(2) IT技術や知識の修得**

|  | 第三者評価結果 |
|--|---------|
| A⑫ A-5-(2)-① 利用者の社会生活に必要となるIT技術（パソコン、インターネット、メールの利用等）や知識の修得に向けた支援をしている。  | a・b・c   |
| <p>良い点/工夫されている点：<br/>           ネット活用検討委員会を立ち上げ、現在、ネット環境を構築していく検討段階である。学校でiPad等を活用した授業を行っているため、対応できる環境づくりも緊急の課題になっている。職員、児童を対象に学習する機会を設け、知識や活用技術を学び、高める取り組みを行っている。</p> |         |
| <p>改善できる点/改善方法：<br/>           ネットの危険性やそれに伴う失敗もあり、慎重にルール作りも行われている。ただし、ネット社会の時代でもあるので、積極的に取り組んでいただきたい。ネット活用委員会に児童も参加して、ルールづくり等も一緒に作る取り組みに期待したい。</p>                     |         |